

令和2年度

事業計画書

改訂版6月30日現在

一般財団法人

東京都高等学校野球連盟

(1) 高等学校野球の普及、振興、指導および監督

- ①常務理事会、理事会においての事業推進のため1月、2月、4月、5月、6月、8月、11月、12月に定期的に開催予定。評議員会を2月開催予定。硬式部・軟式部連絡会議（適宜開催）

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて4月・5月の常務理事会・理事会が中止。

- ②高等学校野球の振興策として中学生の体験入部の取り扱い規定の周知徹底を図り、中体連との協力・連携をする。
- ③偵察等を目的とするフェアプレーに反する行為について徹底し、理解を深める。ほぼ徹底はできているが継続的経過を観察する。
- ④加盟校の指導者ならびに部員の不祥事の根絶に努める。（重点指導事項 指導者の体罰・部内暴力）
- ⑤ホームページにおける情報公開の充実を図る。
- ⑥責任教師会議において、本連盟の運営等について理解を深め協力を図る。

期日：5月24日（土）

会場：青山学院 PS 講堂予定

- (1) 指導者ならび部員への不祥事の根絶についての指導

- (2) 部員登録締切り【追加登録日6月6日（金）】

- (3) 第102回全国高等学校野球選手権大会の詳細説明

- －2020年東京オリンピック・パラリンピック開催における施設使用制限－
- －神宮第二球場にかわるメイン球場の在り方－
- －東京ドーム開催についての注意事項－
- －東西の枠組みを外した球場の使用について－

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて責任教師・監督会議が中止。

加盟校には、野球要項の送付にて周知を図る。

- ⑦指導者研修会の開催により高校野球への理解を深め資質・技術の向上に努める。
- ⑧大会を担う審判員の育成と技術の向上に努める。審判員増員への呼びかけに理解を深める。
- ⑨東南アジア野球支援事業（インドネシア野球振興・指導者の技術指導・インドネシアスポーツ省との業務提携の締結）の推進
特にアジアの野球振興には協力を惜しまず、世界の野球人口拡大に貢献することを意図とし、東南アジアの野球振興に寄与する。また、インドネシアスポーツ省や関係諸団体と密接な関係を保ち、安全に実施する。

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、入国制限や現地感染状況を踏まえて今年度の支援事業を中止。

- ⑩高校野球200年構想の主旨を理解し、野球界の裾野の拡大を目的として、Tボール教室・野球教室を積極的に開催する予定。現在の取り組みも踏まえ、野球人口の拡大につながるようなプログラムを構築し、長く続く事業として展開したい。

変更：新型コロナウイルスの感染リスクを考え、野球振興事業（Tボール教室）

は中止。

①加盟校への還元事業を行う。

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて大会の中止を余儀なくされ、収益事業が大幅に減少し、還元費用を捻出するのが困難のため今年度は行うことができない。

(2) 高等学校野球大会ならびに試合の開催及び協力

年度内に次の通り諸野球大会を当連盟の主催または新聞社の協力で開催する。

① 令和2年度春季東京都高等学校野球大会

一次予選 期 日：3月14日（土）から5日間

会 場：24ブロック校

参加校：最大210校

本大会 期 日：4月1日（金）から12日間 決勝26日（日）

会 場：ダイワハウススタジアム八王子球場 他

参加校：112校

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて令和2年度春季東京都高等学校野球大会は中止。

② 102回全国高等学校野球選手権大会 東・西東京大会

期 日：7月4日（土） 開会式

7月4日・5日・12日～23日間

※8月1日（土）～3日（月）東京ドーム開催

決勝 東東京大会・西東京大会ともに

8月3日（月）東京ドーム

会 場：神宮球場 東京ドーム ダイワハウススタジアム八王子 他

参加校：273校

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて102回全国高等学校野球選手権大会 東・西東京大会は中止。

※上記大会の中止を受け、代替え大会を実施。

2020年夏季東西東京都高等学校野球大会

開催条件：無観客試合

期 日：7月18日・19日・23日～8月8日・10日 20日間

決勝：東東京大会 8月7日（金）大田スタジアム

決勝：西東京大会 8月8日（土）ダイワハウススタジアム八王子

東西優勝校対抗戦 8月10日（月）ダイワハウススタジアム八王子

会 場：神宮球場 大田スタジアム ダイワハウススタジアム八王子 他

参加校：272校予定

加盟校が新型コロナウイルス感染症のリスクを考え大会参加の判断を下す。

③ 令和2年度秋季東京都高等学校野球大会

一次予選 期 日：9月5日（土）から8日間
⇒9月17日（土）から8日間

会 場：24ブロック校

参加校：273校

本大会 期 日：10月10日（土）から13日間
⇒10月17日（土）から10日間

決 勝：11月15日（日）

準決勝・決勝は神宮球場使用予定

会 場：神宮・ダイワハウススタジアム八王子 他

参加校：64校

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて日程を変更。

(3) 高等学校野球の記録・調査・研究

指導者研修会における講師の依頼

講師は現在未定。

変更：新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考え中止。

(4) 高等学校野球選手、部員などのスポーツ障害予防・健康増進

医師、看護師、理学療法士による、水分補給方法、熱中症予防、試合中における選手のケアなどの指導実施。

(5) 高等学校野球に関する講習会・研究会の開催

審判講習会

令和2年度東京都高等学校野球連盟会場校学生審判講習会

期 日：2月24日（日）

会 場：創価高等学校グラウンド予定

令和2年度春季東京都高等学校野球大会審判講習会

期 日：3月1日（日）

会 場：堀越高等学校グラウンド

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて令和2年度春季東京都
高等学校野球大会審判講習会は中止。

第102回全国高等学校野球選手権大会東西東京大会審判講習会

期 日：6月21日（日）

会 場：堀越高等学校グラウンド

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて第102回全国高等学校
野球選手権大会東西東京大会審判講習会は中止。

令和2年度秋季東京都高等学校野球大会審判講習会

期 日：8月30日（日）

会 場：堀越高等学校グラウンド

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて令和2年度秋季東京都
高等学校野球大会審判講習会は中止。

記録員・アナウンス研修会

期 日：6月27日（土）

会 場：渋谷アットビジネスセンター

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて記録員・アナウンス研
修会は中止。

野球振興事業（Tボール教室）

期 日：11月上旬～2月下旬まで

会 場：加盟校 各グラウンド

変更：新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考え今年度の野球振興
事業は中止。

指導者研修会

期 日：12月5日（土）

会 場：海城高等学校

変更：新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考え中止。

（6）野球を通じた国際交流、国際相互理解の推進

野球人口の拡大を目的に東南アジア支援事業を執り行う。この経緯は一昨年よりインドネシア野球連盟からの強い要望で野球先進国の日本のコーチにインドネシアで実際に野球技術指導を行っていただけないかという打診があり、様々な角度から途上国支援ができないかを当連盟では模索していた。

2018年には、当連盟には大きな海外遠征事業（キューバ遠征）が計画されていたためにインドネシアへの支援事業は一時的に見合わせていた。

2019年になり、再度インドネシアスポーツ省、インドネシア野球連盟からの要請があり実施を決定した。渡航先は、インドネシア共和国（デンパサール - バリ島 - ジャカルタ）。期日は令和2年12月21日（月）

12月～31日（木）。対象は加盟校指導者。

現地、インドネシア野球連盟の傘下のチームならびに指導者への技術指導を目的として野球教室を実施する。実施会場は、デンパサール地区（バリ島）とジャカルタ地区の2会場を予定。両地区ともに2回の講習会を実施する。さらに東南アジアにて野球人口拡大に大きな可能性を秘めているインドネシア

スポーツ省が期待する東京高野連との業務提携についても慎重に話し合いを行い両国・両連盟にとって実りある支援事業になることを目指す。また、現地情報を的確に把握し、常に新しい情報のもと、指導者の方々の安全と有意義な異文化交流となるよう努める。さらに、外務省、大使館とも積極的な連携をとり円滑な事業となるよう万全の態勢で臨む。そして、アジア諸国の野球発展のため、物心両面の支援も継続的に行い、野球界の発展に貢献する。

変更：新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、入国制限や現地感染状況を踏まえて今年度の支援事業を中止。

(7) 高等学校野球に関する関係諸団体との協力・提携

東京都中体連、関東地区高野連、全国九地区高野連ならびに日本高野連と密接な協力・提携を行う。

(8) その他この法人の目的達成に必要な事項

必要に応じて事業を行う。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて様々な事業が中止になり、財務上も逼迫している。補正予算を組む必要がある。

軟式部の令和2年度の事業計画は、2019年度の日程とほぼ同じ。